

いこまタウン ミーティング

令和7年5月17日

南コミュニティセンター
せせらぎ



本日の流れ

I 市長からまちづくりについての説明

1. 生駒市の現状と課題
2. 生駒市のまちづくりビジョン
3. ビジョンを具体化する令和7年度予算
4. 生駒南小・中学校を中心としたまちづくり

II 質疑応答

I 市長からまちづくりについての説明



1. 生駒市の現状と課題



いきなりですが、想像してください

生駒市に住んで良かったことは、
何ですか？

市民が感じている、生駒市に住み続けたい理由

閑静な住宅地だから

自然環境が豊かだから

買い物など日常生活が便利だから

いまの住居に満足しているから

通勤・通学が便利だから

| 生駒市への評価

- 政府のSDGs未来都市(R1) に選定
- 小学校・中学校の学力は奈良県、全国と比較しても
トップレベル
- 刑法犯罪認知件数・交通事故発生件数
(人口1,000人当たり)は県内12市で最少水準
- 平均寿命は奈良県、
全国と比較しても、
高い (特に男性)



各種自治体ランキングでの高い評価

● シティブランド・ランキング (全国の働く世代2万人に「住みよさ」を調査)

奈良県 1 位 ・ 関西 1 0 位 ・ 全国 4 7 位

(回答者が20人以上の366市区をまとめたランキング)

(出典)住みよい街2024(日経BP総研)

● シビックプライドランキング (まちに対する愛着・誇り・共感・継続居住意向、他者推奨意向からスコアを出したもの)

奈良県 1 位 ・ 関西 7 位 ・ 全国 2 8 位

(関東圏と関西圏の人口10万人以上の151自治体中)

(出典)シビックプライド調査2024(読売広告社)

その結果…

子育て世代の転入超過（R5）：89人

（25歳～44歳）

（出典：住民基本台帳人口移動報告）

市内での定住意向率：88.9%

（出典：令和6年度生駒市市民実感度調査）

市民による推奨度：7年間で10%上昇

（出典：平成27年度生駒市市民満足度調査・令和4年度生駒市市民実感度調査）

一方で、課題も浮き彫りに ⇒

| 生駒市の課題（子育て支援・教育）

● 少子化の急激な進行

出生者数

1,011人(2013年)



610人(2023年)

(出典：奈良県保健衛生統計)

● 多様な学びの必要性

不登校者数(人口千人あたり)

小学校 8.0人(2019年)



24.0人(2023年)

中学校 37.1人(2019年)



58.0人(2023年)

(出典：教育指導課資料)

●高齡化の急速な進行

高齡化率

25.4% (2015年) ➡ 29.7% (2025年推計) ➡ 37.6% (2050年推計)

(出典：生駒市人口ビジョン改訂版)

●介護・認知症への不安

- ・ 要支援・要介護認定率は上昇傾向
- ・ 認知症高齢者数は2035年にピーク(約7,800人)を迎える

(出典：生駒市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画)

●移動への不安

- ・ 「暴走老人」を契機に、自動車免許の自主返納機運高まる
- ・ 自家用車では移動ができない人の増加に対応するまちづくりが急務

●域外就業率が**高い**(働く場があれば地元に残りたいニーズに応えられていない)

生駒市 51.5%(全国4位)

王寺町 41.86%

三郷町 40.91%

(出典：令和2年国勢調査 就業状態等基本集計)

●共働き世帯の増加

- ・ 25～39歳の女性労働者が大幅に増加
- ・ それでも本市の女性就業率は全国や奈良県平均より低い
- ・ 創業・兼業・テレワークなどの多様な働き方、地域での就労などの確保

●高齢者の就労拡大、若年層の激減

- ・ 65歳までの雇用義務化(定年延長)
- ・ 18歳人口の急減 → 雇用確保、デジタル化等による効率化

● 地震に対する備え

- ・ 能登半島地震等による市民の防災意識の高まり、不安の拡大
- ・ 東南海トラフ地震（30年以内発生確率80%程度）、生駒断層帯
→ 防災リュックなどの整備率 30%以下

● 気候変動による影響

1日平均気温の年間平均(奈良県奈良市)

1993年	2023年
14.3℃	16.6℃

1日平均気温の月間平均（8月：奈良県奈良市）

1993年	2023年
24.6℃	28.9℃

<気象庁公表データより>

- ・ 熱中症による健康被害 R3：約600人 R4：約1,000人

→ 脱炭素の施策優先度 24位

（出典：奈良県消防救急課報道発表）

課題に対応するための

2. 生駒市のまちづくりビジョン



新しい働き方を増やす

地域で働く人の増加につなげる

〔起業・創業、副業支援、ワークシェアリング、
女性活躍、農業、観光、ニュータウン再生等〕

▶ 12万人全員をアントレプレナーに！

住む

豊かな住まい方を広げる

住まい方を地域課題の解決や
新たな価値創造につなげる

〔生駒版まちの駅、官民連携での子育て環境づくり、
地域共生社会、脱炭素、スマートシティ等〕

▶ 誰一人「お客さま」にしない！

働く

楽しむ

多様な暮らし方を楽しむ

豊かな自然、公園、文化資産、公共施設など
地域資源の活用によって、滞在空間の増加に
つなげる

〔芸術祭や音楽祭、公園利活用、市民活動等〕

▶ まちをセルフプロデュースする！

多様な生き方・暮らし方が叶う豊かなまちに転換

生駒市のVision「自分らしく輝けるステージ・生駒」

「ベッドタウン」を卒業し、次の50年に向けた「令和時代の住宅都市」の実現

3. ビジョンを具体化する令和7年度予算

1. こども・子育て支援、教育
2. 地域共生社会の実現
3. 経済の活性化・多様な働き方
4. 防災対策
5. まちの拠点形成
6. デジタル化など施策を支える各種取組



| 1. こども・子育て支援、教育

■産後ケア事業の充実

出産後、1年未満の母子に対して、安心して子育てができるよう、ショートステイ（宿泊型）、デイケア（通所型）を実施し、R7年度から新たにアウトリーチ（居宅訪問型）を実施

■産前産後ホームヘルプサービス

妊婦や産後1年未満の産婦を対象に、民間のホームヘルプサービスを利用できるクーポン（1,000円×20枚）を配布

■生殖補助医療・先進医療の治療費助成の拡充

一般不妊治療に加え、生殖補助医療（体外受精・顕微授精等）や保険適用外の先進医療についても補助対象とし、不妊に悩む夫婦等の経済的負担を軽減

■壺分幼稚園のこども園化

令和9年度の開園に向けて壺分幼稚園園舎の解体工事等を実施

| 1. こども・子育て支援、教育

■時代の変化に対応する力を身につける新しい学び

- ✓ 自分で決める主体性
 - ✓ 個別・協働の学び
 - ✓ 教科を横断する探求的な学び
 - ✓ 得意・好きを通した学び
 - ✓ 自分たちで解決する力
- ➡
- **自由進度学習**
(生駒南小学校)
 - **持続可能な開発のための教育(ユネスコスクール)**
(生駒小学校)



■より多様な学びの場の確保

- いきいきほっとルーム、のびのびホットルーム両施設とも、小学生・中学生が利用できるよう対象を拡大
- 市立小・中学校10校に校内サポートルームを設置
 - ✓ 教室らしくない教室、自分のペースで学べる空間
 - ✓ 学びの創造につなげるICTの活用
 - ✓ 自分の好きを見つける体験活動



| 1. こども・子育て支援、教育

■小・中学校屋内運動場空調設備整備事業

熱中症対策及び避難所の環境整備のため、小・中学校の全ての屋内運動場への空調整備を実施



■オーガニック給食の実施

地産地消や環境への負荷を考える取組の一環として、オーガニック給食を体験する日を設定

2. 地域共生社会の実現

■生駒市立病院開院10周年

- H27年6月 開院
 - R6年4月 生駒地区医師会に加入
 - R7年6月 10周年
- 令和9年4月から**20床増床**予定

(主な実績)

- 分娩数 246件(R5年度)
- 救急件数 3,163件 応需率 95.1%
- 他病院に先駆け、コロナ専用病床を整備し、積極的に受入れ
- 経営の黒字化



公益財団法人 日本医療機能評価機構による「**病院機能評価**」の**認定**を取得

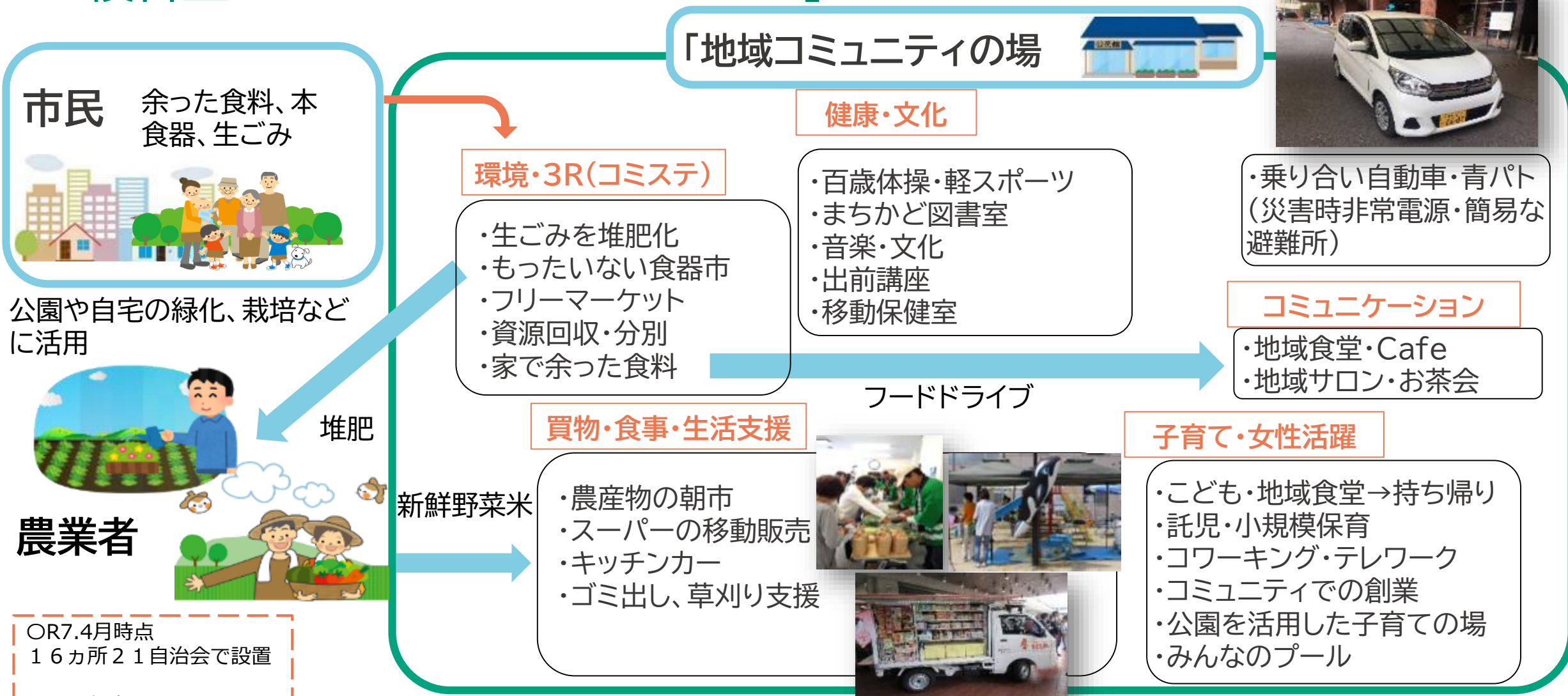


■生駒市立病院開院10周年式典

令和7年6月15日（日） 午前9時30分から たけまるホール

2. 地域共生社会の実現

■複合型コミュニティ「まちのえき」



地産地消、移動支援、地域活性化を、地域の協創で実現！

3. 経済の活性化

■ IKOMA LOCAL BUSINESS HUB (ILBH)

- ・ 創業・第2創業、パラレルキャリア(複業)の支援
- ・ 2年連続で**100名以上**の受講希望者
- ・ これまでで**5件**の起業・創業につなげる



■ 市内中小企業の人材確保等総合支援事業

- ・ 深刻な人材不足を課題として抱えている市内中小企業を総合的に支援
 - ✓ 専門人材とのマッチング支援
 - ✓ 人材採用・人材育成にかかるコストへの補助金／賃上げした事業者への補助金

■ 大阪・関西万博2025への出展

- ・ 奈良先端科学技術大学院大学との連携によるブース出展
- ・ 「お茶」をテーマとした県外市町村との連携による出展
- ・ 生駒中学校吹奏楽部と天理大学雅楽部によるコラボ演奏
- ・ 対馬ウィークでの島・都市のこどもたちの交流学習



5. まちの拠点形成

■学研高山地区第2工区のまちづくり

- 学研高山地区南エリア
R 8年度の**事業認可**に向けて土地区画整理準備組合の運営
- 学研高山地区ゲートエリア
土地区画整理準備組合の設立に向けてまちづくり協議会の運営
- 学研北生駒駅北地区
R 7年度中の**事業認可**に向けて土地区画整理準備組合の運営



■生駒山を通じた観光振興

生駒山を西の高尾山に

- 東大阪市、観光関連団体、生駒市で構成する「生駒山ブランド推進協議会」
- 生駒山上遊園地にフォトスポット、山頂プレートを設置し、**「山のとっぺんの映えスポット」**に
- 生駒駅南口参道周辺を市の玄関口及び宝山寺の門前町にふさわしいにぎわいと趣のある街並み空間として景観づくりを進める



6. デジタル化など施策を支える各種取組

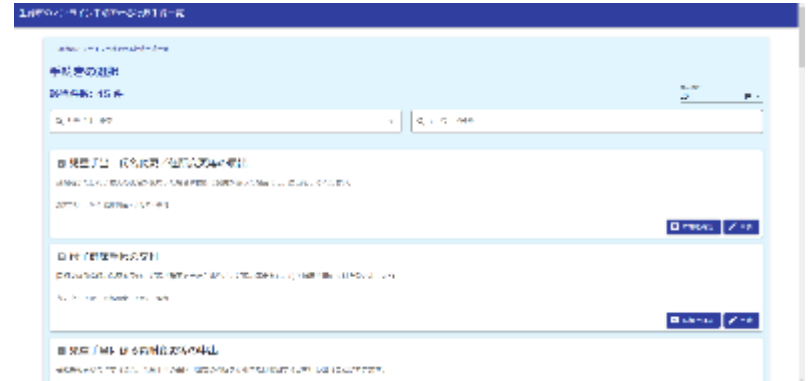
デジタル化

■ 施設予約システムの構築

- 生涯学習施設、スポーツ施設、学校体育施設の利用に当たって、オンラインで予約申請、キャッシュレスで利用料の支払いができる予約システムを構築し、R7年度中に運用開始予定

■ オンライン申請できる行政手続一覧の市HP開設

- 市の行政手続でオンライン申請ができる手続を掲載
- 手続は順次拡大予定



SDGs

■ 脱炭素住宅都市モデルの実現（脱炭素先行地域）

- 国からの補助金を活用し、萩の台住宅、ひかりが丘をモデル地区とした既存住宅地、公共施設、自治会集会所及び民間施設に太陽光発電設備と蓄電池の設置促進
- 災害時の防災対策にもつながる

広報・広聴

■ e-広聴プロジェクト（デジタルききみみポスト）

- 「いつでも」「どこでも」「簡単に」意見が言えるシステムを導入し、政策に活用

4. 生駒南小・中学校を中心とした まちづくり



(1)生駒南小学校・生駒南中学校整備事業の経緯・概要



新しい学校づくり

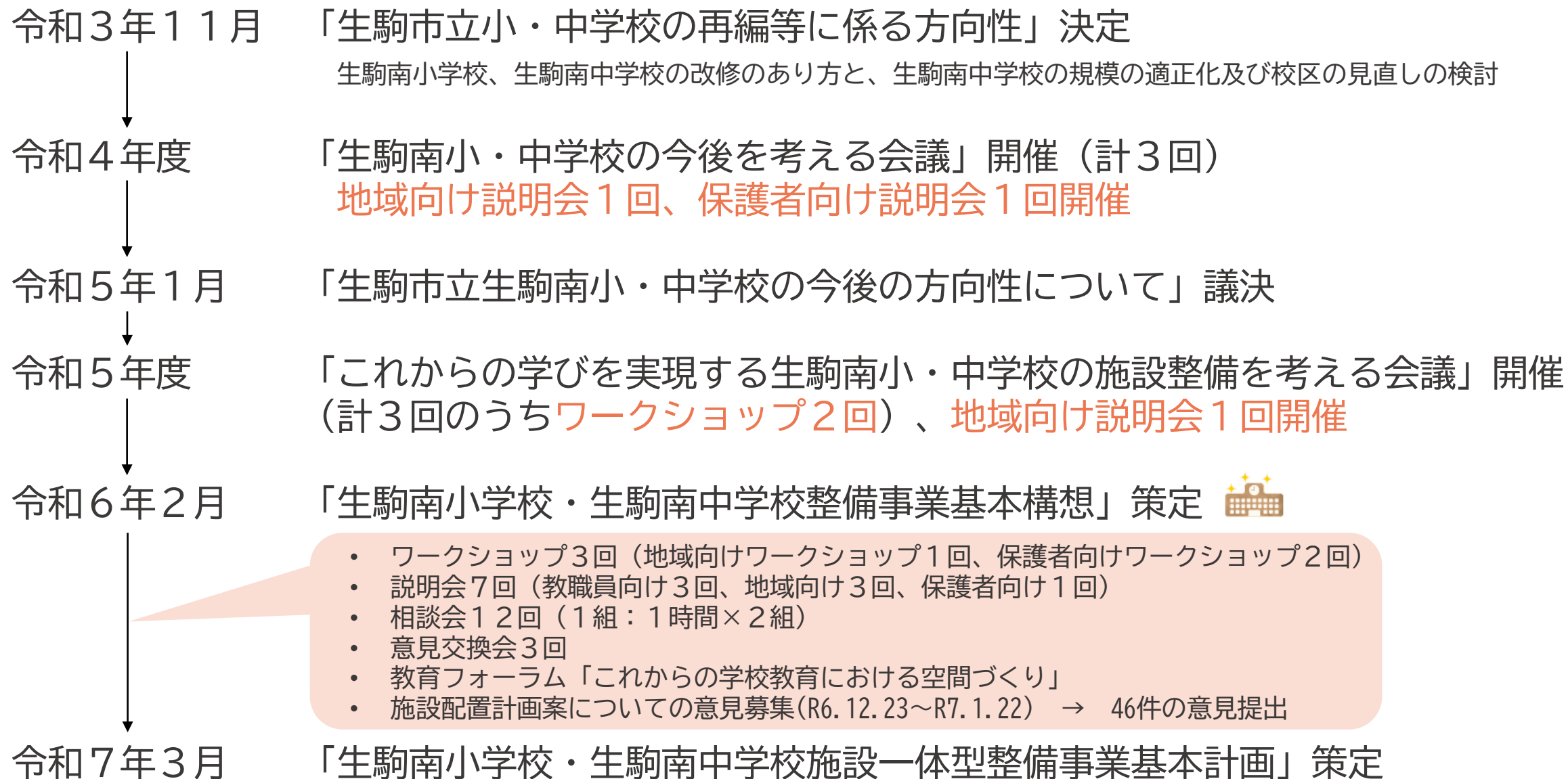


生駒市

IKOMA CITY



①生駒南小学校・生駒南中学校整備事業に係るこれまでの動き



②生駒南小学校・生駒南中学校整備事業基本構想

新しい学校をつくるための
5つの視点

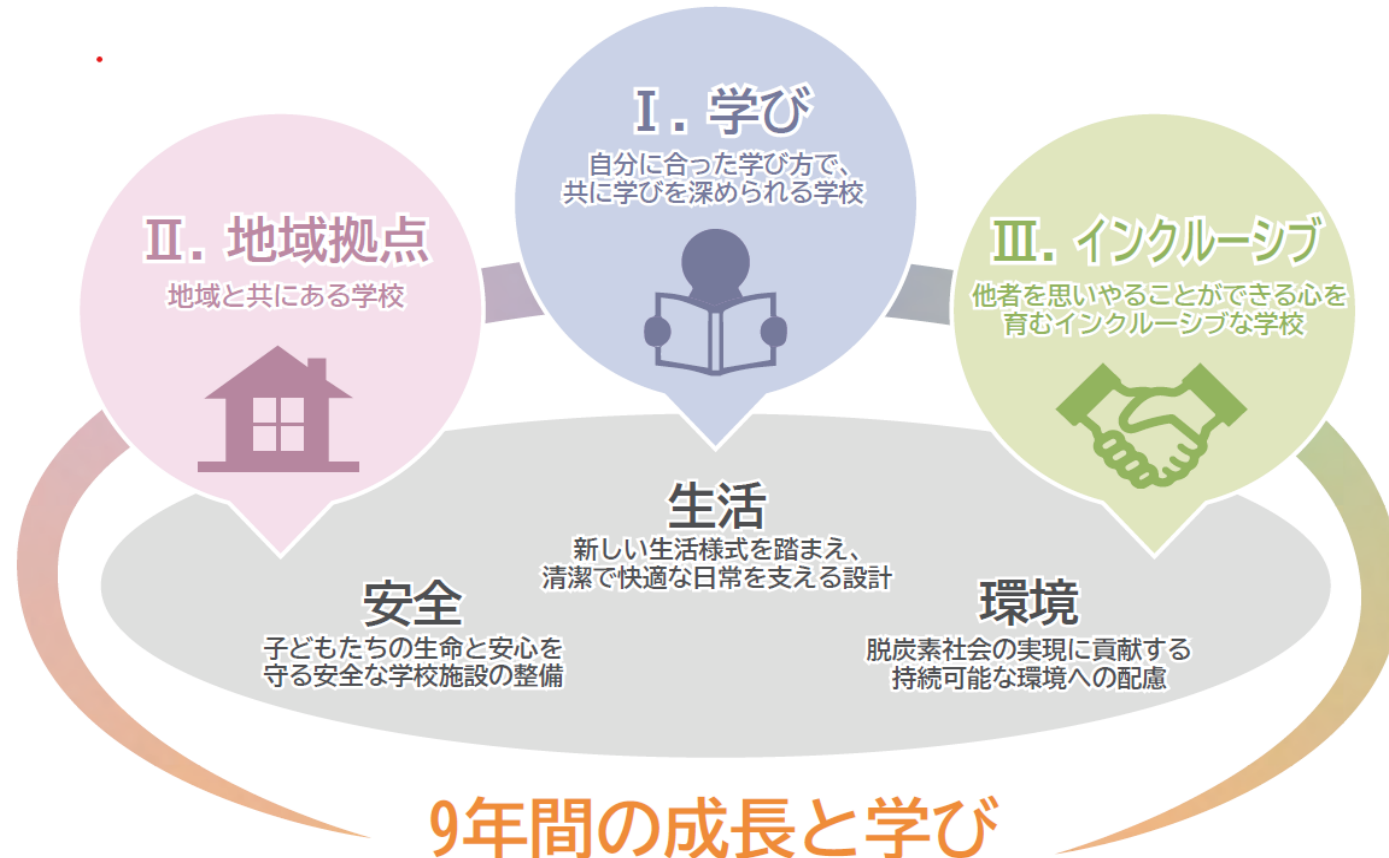
- 1 多様性・個性を尊重し、相手を思いやることができる心を育む学校**
～ユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが心地よく過ごせる施設の中で、自然と思いやりの心が育つ学校に～
- 2 地域や他学年と交流しやすく、子どもたちが多様な人たちと交わり、豊かな人間関係を築くことができる学校**
～幅広い年齢層の子どもたちが成長できるとともに、地域の人が気軽に利用できる空間がある学校に～
- 3 子どもたちが自ら学びたいと感じ、主体的に物事に取り組むことができる学校**
～子どもたちの主体的な学びを促す学習環境や教育活動が充実した学校に～
- 4 時代の変化にも柔軟に対応できる、これまでの学校にはない新しい視点を取り入れた学校**
～どのような時代にも対応できる自由度の高い空間を有する学校に～
- 5 いつまでも心に残り続けるかけがえのない経験ができる学校**
～仲間と共に多様な体験を重ねることができる学校に～



<校舎設計ビジョン>

すべての人にとっての「学び」と「交流」の拠点

<3つの中心コンセプト>



新しい学校づくり

I 【学び】：自分に合った学び方で、共に学びを深められる学校

- ① **多様な学び**に対応できる**可変性**のある環境(自由度の高い空間)
- ② みんなが自然と集まり、**楽しく学び個性を発揮**できる場
(共通スペース、掲示・展示スペースの配置)
- ③ **探求的・協働的な学び**を支援する学校(素材、採光の工夫)



教室と多目的スペースの一体利用イメージ(風越学園)



自由度の高い空間イメージ(五城目小学校)



Ⅱ【地域拠点】：地域と共にある学校

- ① 多様な年齢の人たちが共に学び、共に遊び、交流できる学校
(バリアフリー空間)
- ② 地域の人たちとの安全安心な交流(校舎・教室環境のDX)
- ③ 生駒南地区の「まちの拠点」(南コミセンとの連携)



地域の人々も利用可能な図書室イメージ(早来学園)



地域連携室イメージ



Ⅲ【インクルーシブ】：他者を思いやることができる心を育むインクルーシブな学校

① ダイバーシティ & インクルージョンの推進

(用途を持たない小部屋の配置)

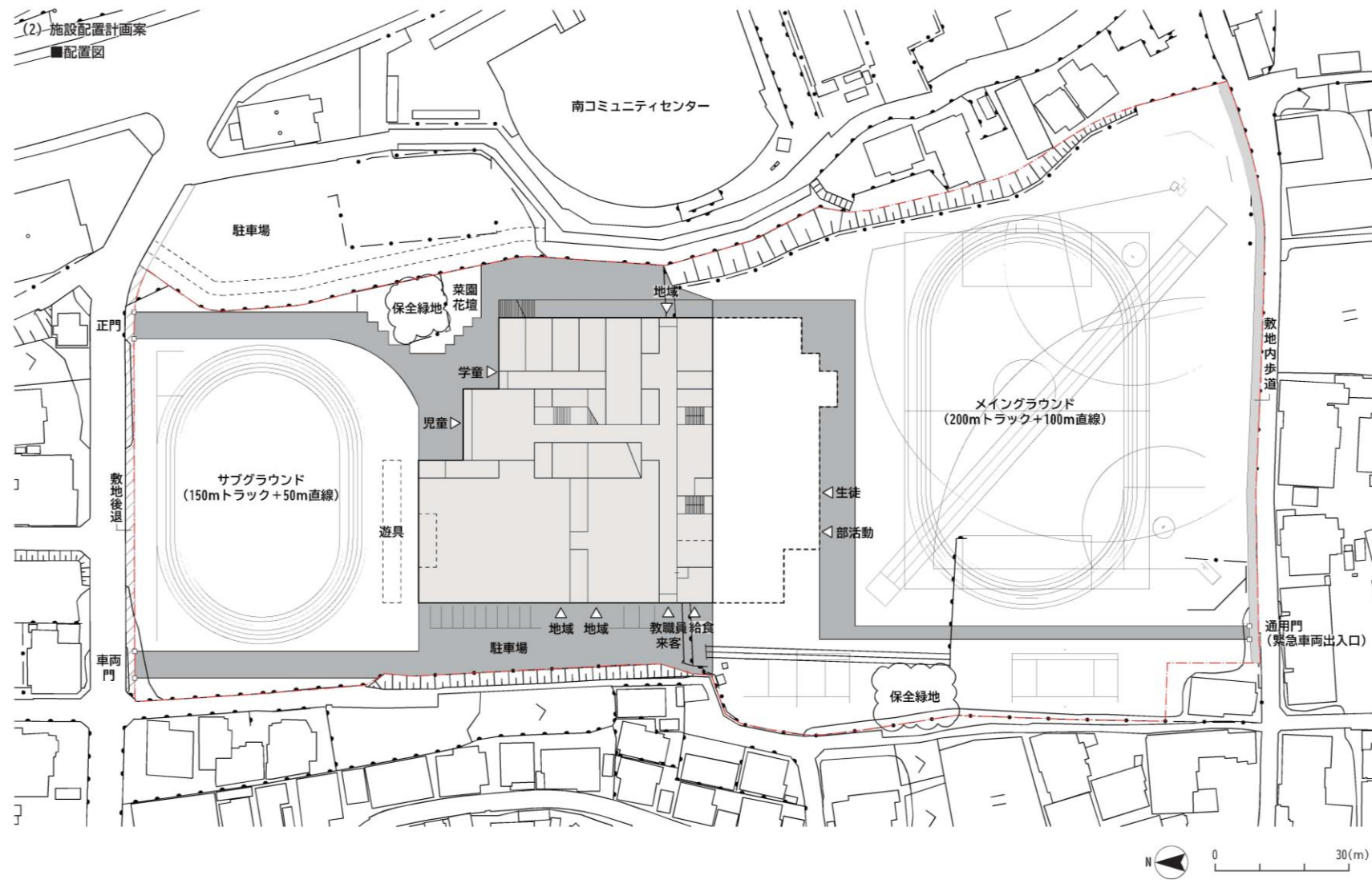
② 死角の少ない、開放性をもちつつ「一人にもなれる」学校

③ すべての子が通いやすい学校(居心地よく過ごせるようなスペースの配置)



③生駒南小学校・生駒南中学校施設一体型整備事業基本計画

■ 施設配置の方針案(配置図)



- 敷地中央に校舎を配置
- 南北2か所の既存緑地は保存
- 歩行者動線と車両動線を明確に分離
- 南北の段差をバリアフリー
- 菜園を設置 (意見を反映)



③生駒南小学校・生駒南中学校施設一体型整備事業基本計画

■ 施設配置の方針案(1F)

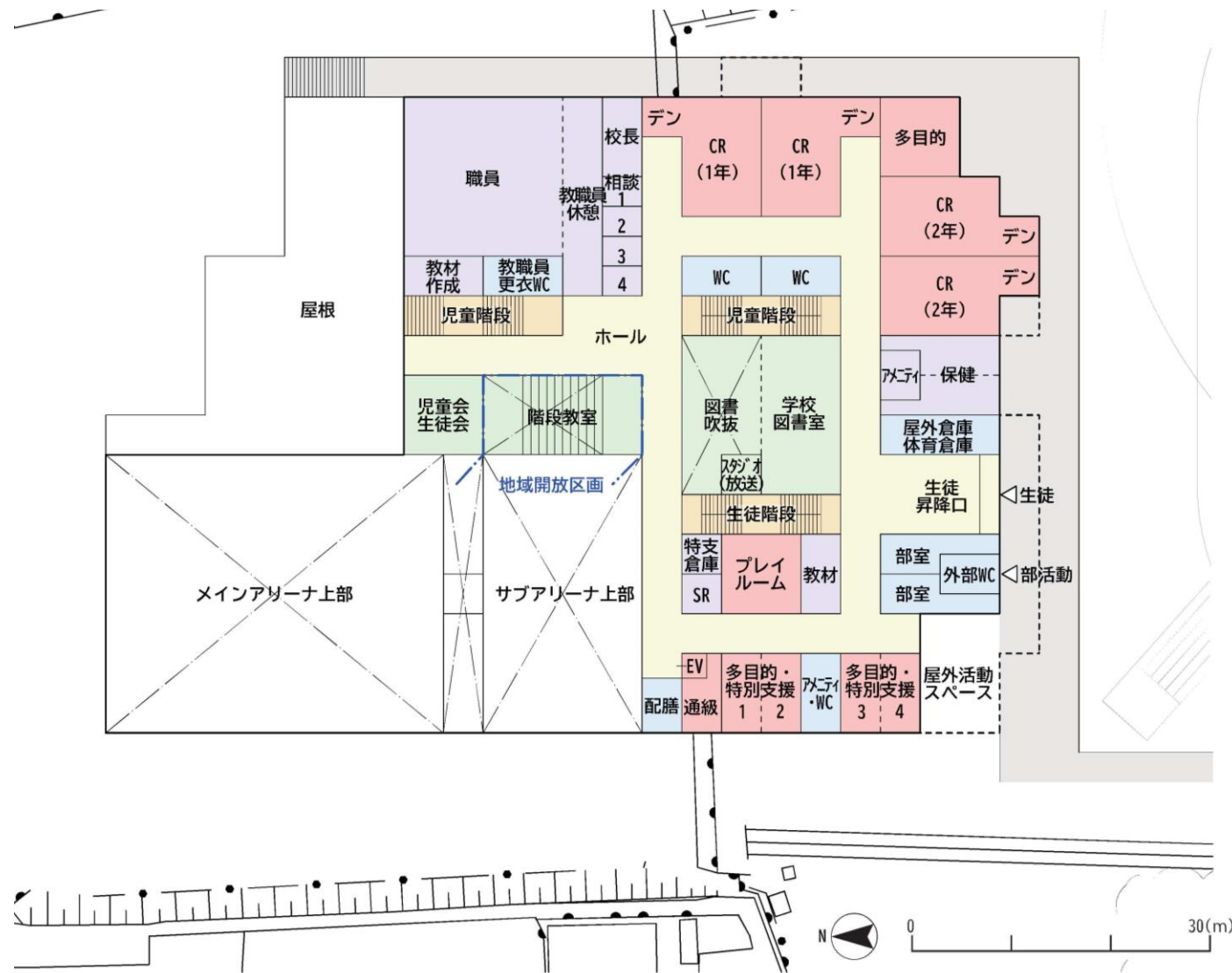


- 地域開放の優先度が高い特別教室・屋内運動場を配置
- 地域交流スペース・地域図書室を配置
- ICTを活用した予約システムやスマートロックなどの導入



③生駒南小学校・生駒南中学校施設一体型整備事業基本計画

■ 施設配置の方針案(2F)

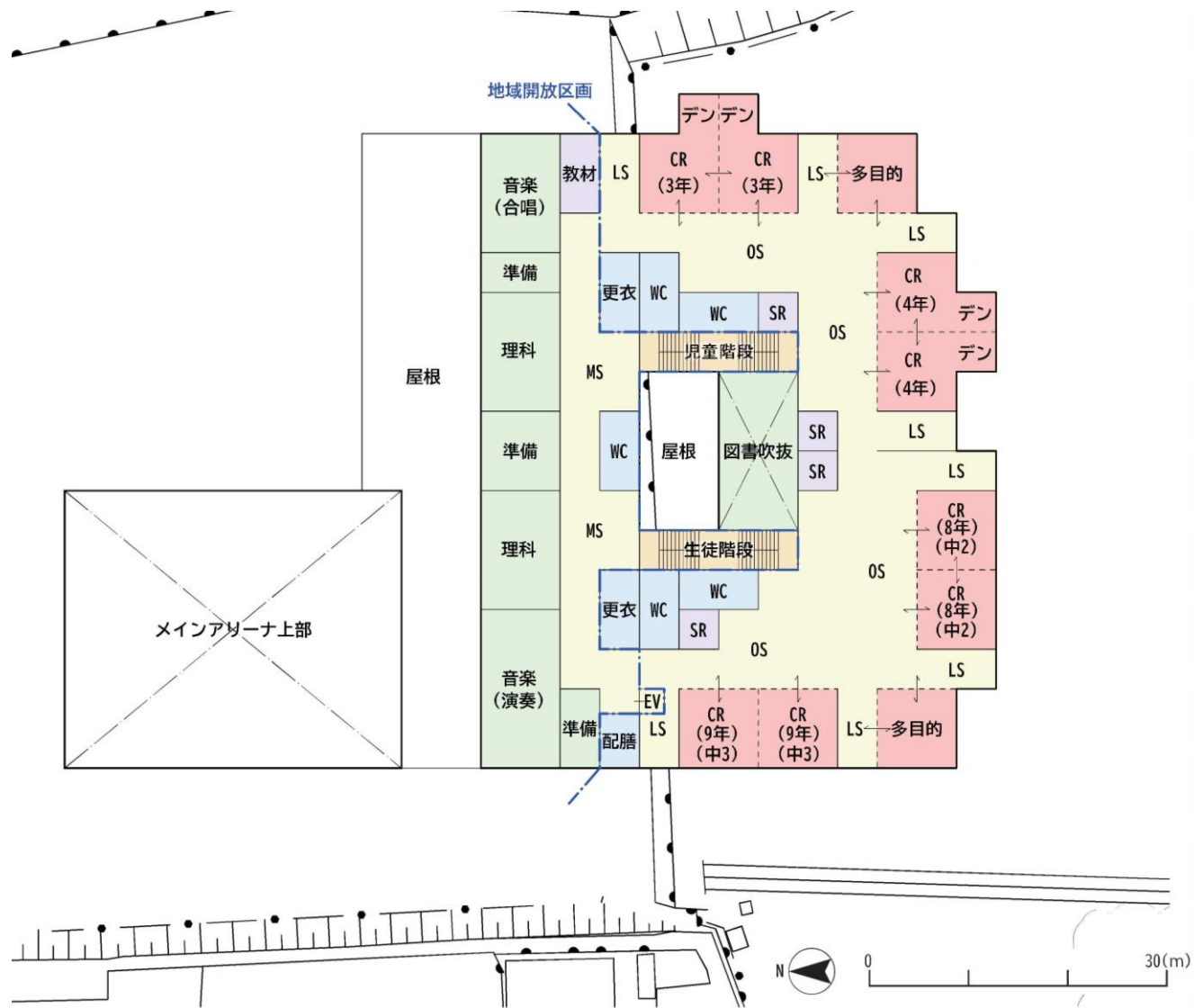


- 学校図書室を2階に配置
(当初は1階 → 意見を反映)
- 高低差を活かした開放的な吹抜・図書室・階段教室の配置
- 校地全体を大人の目で見通せる管理諸室の配置



③生駒南小学校・生駒南中学校施設一体型整備事業基本計画

■ 施設配置の方針案(3F)

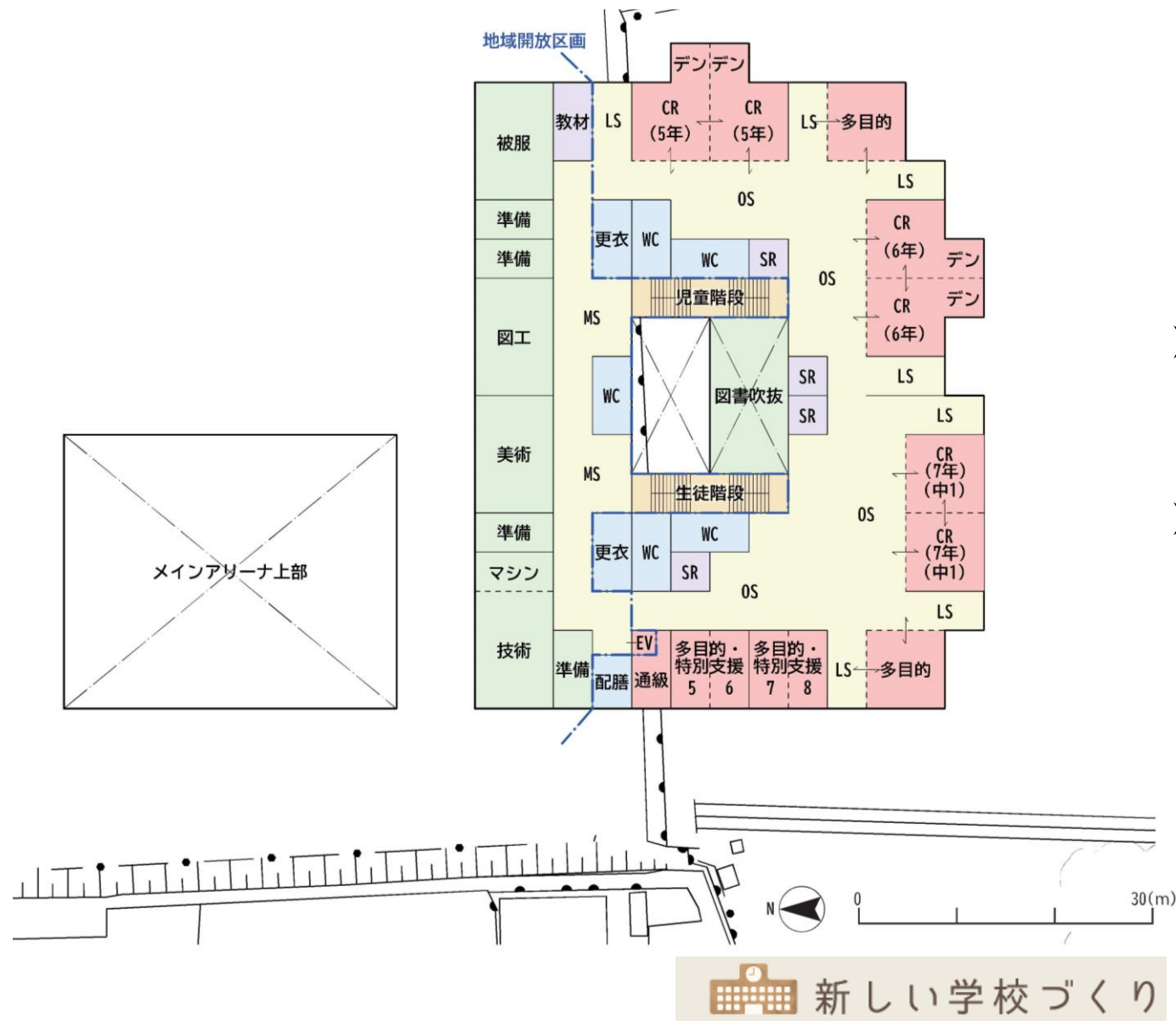


- ホールなどの多様な交流・掲示・展示空間を連続的につなぎ、子どもたちが楽しく学び、個性を発揮できる場を創出
- 教室内外にデンや、オープンスペース内にサポートルームを配置



③生駒南小学校・生駒南中学校施設一体型整備事業基本計画

■ 施設配置の方針案(4F)



- 中学生の教育については、デンを無くし、サポートルームを使用
(意見を反映)
- 教室や多目的スペースの横断的利用も可能な自由度の高い教育空間とし、子どもたち自身が学ぶ場所を選択できる環境

(2)生駒南小学校・生駒南中学校整備を通じた南地区全体のまちづくり

なぜ今、多額の事業費（約65億円）をかけてまで、
生駒南小学校・生駒南中学校の校舎整備を行うのか？

南地区の「まちの拠点」かつ「将来の発展の中核」になるから

今回の建替えにより、これからの学びに対応した教育環境の整備はもちろん、

- 地域の全世代による学校教育と社会教育が融合した多様性のある学びが実現できる施設
- 地域のイベントやコミュニティが集える場として活用できる施設

を整備することと連動して、ハード面の整備（道路、駅周辺、住宅(空き家)）にも取り組み、

南地区の「次の50年の発展の土台」をつくる



①空き家対策と移住施策の推進

■ ニュータウンの再生

- 開発から40年以上が経過し、空き家や高齢化が進んでいる地域を対象に、まちとしての新陳代謝を高めるため、住宅の売却・賃貸化や空き家・住まいの使われていないスペース等の有効活用等を支援
- 萩の台住宅地をモデル地区として選定し、空き家調査、アンケート、空き家所有者に対する個別ヒアリング、住民ワークショップ等を実施



地域の空き家の流通促進や未利用空間の有効活用に加え、
他分野の事業とも連携を図ることによって、子育て世帯の
転入・定住を促進



住み開き



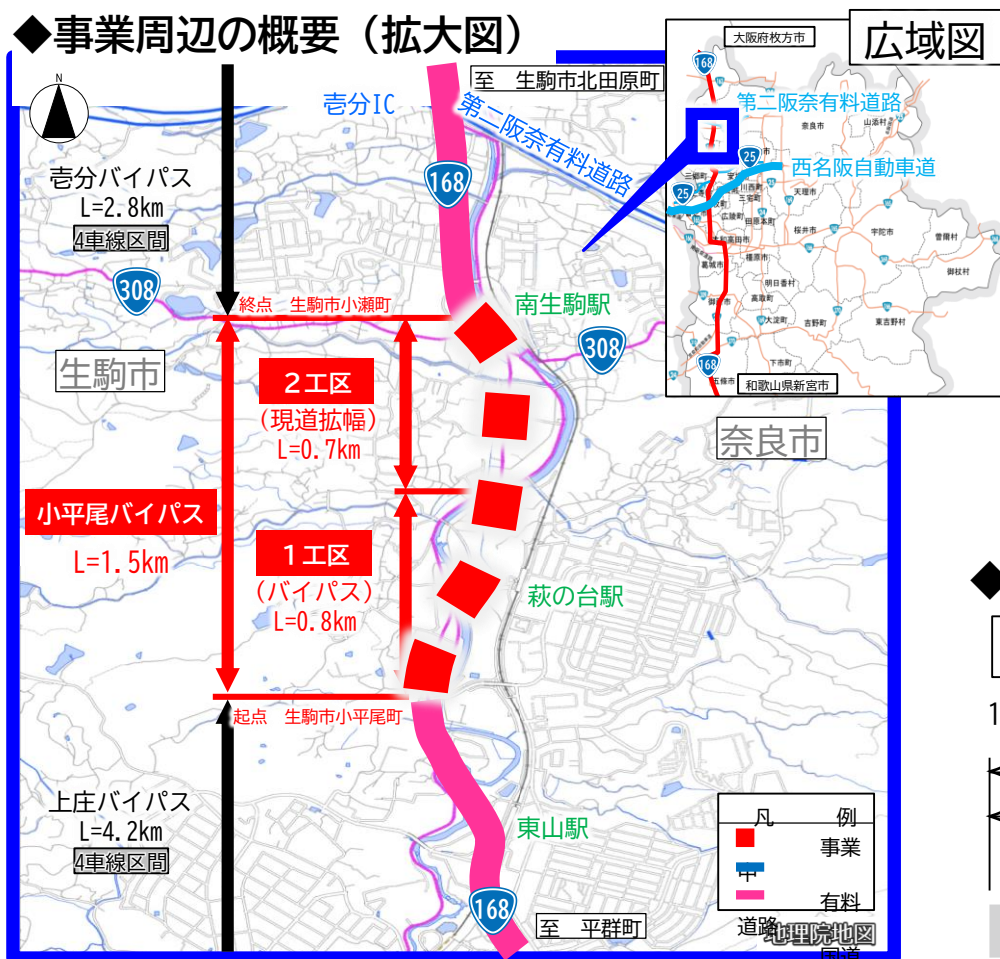
未利用空間の利活用

②国道168号 小平尾バイパス整備事業について

事業の概要

- 小平尾バイパスは、国道168号の生駒市小平尾町から生駒市小瀬町に至る約1.5kmの事業中の区間
(1工区 (バイパス区間) : 0.8km、2工区 (現道拡幅区間) : 0.7km)
- 小平尾バイパスの整備により、壺分バイパスや上庄バイパスとともに、第二阪奈有料道路や国道25号へのアクセスが向上し、地域の交通環境の改善や生活利便性の向上が期待

◆事業周辺の概要 (拡大図)



◆事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 交通安全性の向上
- 地域の活性化
- 救急救命活動の支援

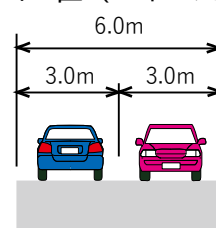
◆計画諸元

事業区間	奈良県生駒市小平尾町 ～生駒市小瀬町
事業延長	1.5km
構造規格	第4種第1級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
車線幅	3.25m
道路幅員	23.0m

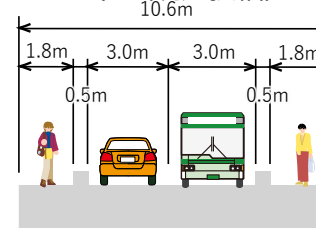
◆標準断面図 (計画)

現況

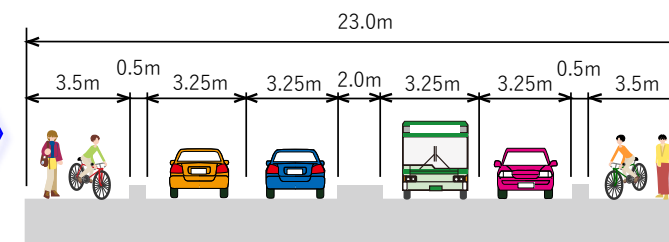
1工区 (バイパス)



2工区 (現道拡幅)



計画

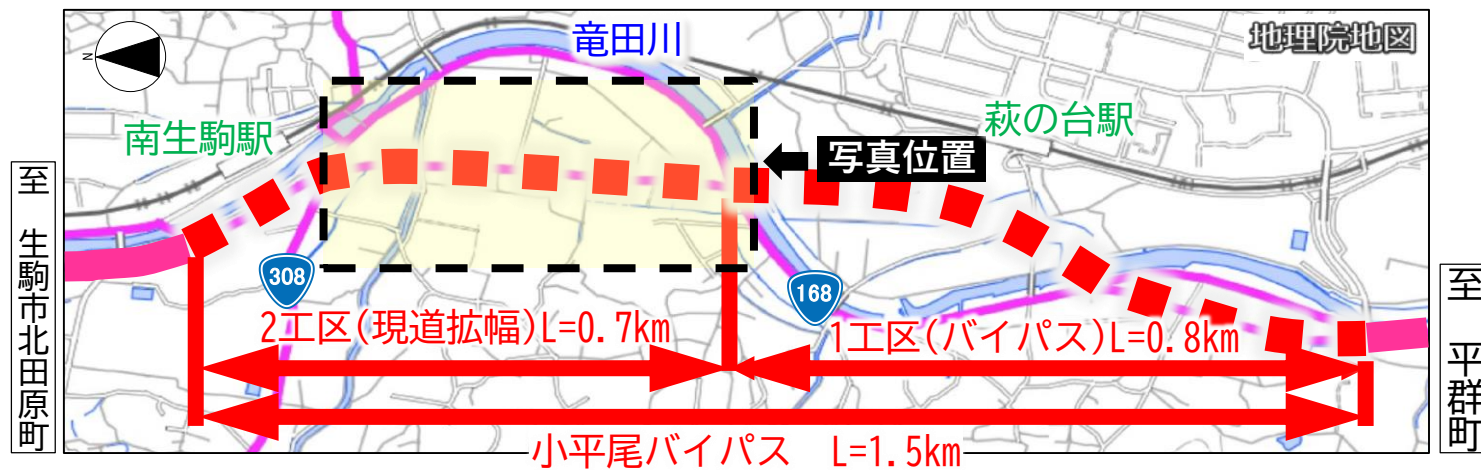


小平尾バイパス 完成イメージ（2工区 南側）

整備前



整備後



小平尾バイパス 完成イメージ（1工区 北側）

整備前



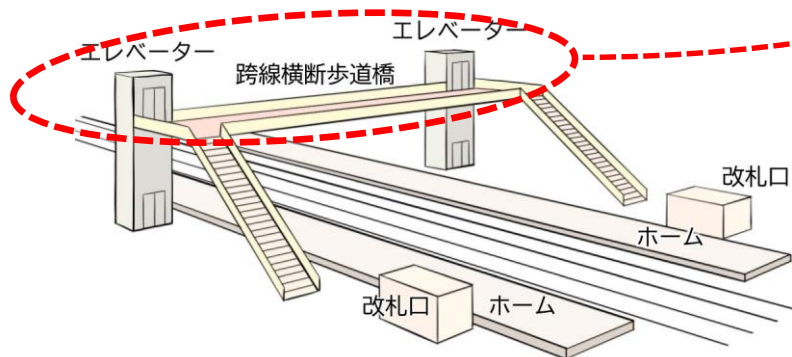
整備後



③近鉄南生駒駅周辺のバリアフリー化事業

主な整備内容

- 跨線横断歩道橋の整備
→ 駅構外の地下通路を廃止し、エレベーター付きの
跨線横断歩道橋を新設
- 駅舎の地平化事業
→ 地下改札を廃止し、新たに東西両ホームの
地上部に改札口を新設
- 多機能トイレの新設



※図に関しては、整備後の利用動線やイメージを表したものであり、
詳細については今後の関係者協議や設計業務で検討します。

令和9年度末の完成を予定

- 令和5年度、6年度で跨線横断歩道橋の設計業務を実施予定
- 令和7年度より工事に着手予定

※関係者との協議、設計業務の進捗のなかで完成年度が前後することもあります。

④その他

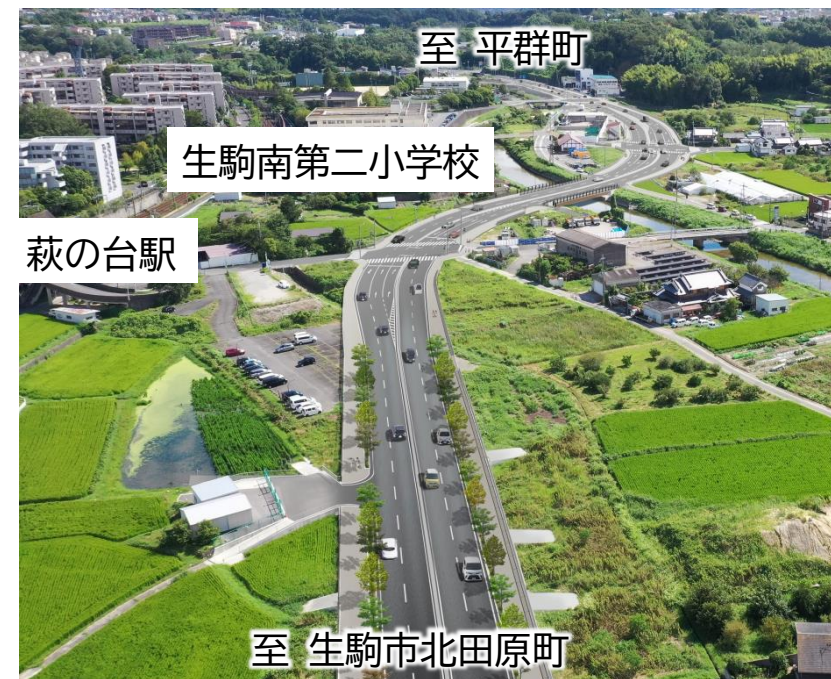
■ (仮称)竜田川親水公園整備

奈良県の竜田川河川整備事業に伴い小平尾町地内において事業用地を活用した親水公園・広場整備を検討



■ 萩の台駅西側の適正な土地利用の検討

無秩序な建築が進むことも想定されることから、萩の台駅周辺における国道168号小平尾バイパス整備と合わせた適正な土地利用の検討



| さいごに 南地区は市が進めるまちづくりをリード！

- 南地区は、
- ◆「まちのえき」の第1号、グリーンスローモビリティ（愛称「はぎくる」）の実証運行地区
 - ◆校区単位の市民自治活動（市民自治協議会）の発祥地域
 - ◆学校との協働活動（コミュニティ・スクール）の先進地



南地区は、市が進める市民・事業者と連携したまちづくりをリードしています！

南地区・生駒市のさらなる発展に向け、
「協創」のまちづくりを進めましょう！

ご清聴ありがとうございました



II 質疑応答

